

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2025年6月23日	
石川県知事	殿
提出者	
住 所 三重県津市安濃町大字戸島2010番地	
氏 名 シャープディスプレイマニュファクチャリング株式会社	
代表取締役社長 橋本 隆治	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 059-268-3838(大代表)	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	シャープディスプレイマニュファクチャリング株式会社 白山工場
事業場の所在地	石川県白山市竹松町2480番地1
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	電子部品・デバイス・電子回路製造業
②事業の規模	売上金額 103億円(2024年度実績)
③従業員数	289名(2025年3月31日時点)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添-1 ご参照

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別添-1 ご参照			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙-2 ご参照	
	排 出 量	別紙-2 ご参照	
	(これまでに実施した取組) 生産設備の適正な運用管理による、廃棄物発生量の抑制		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙-2 ご参照	
	排 出 量	別紙-2 ご参照	
	(今後実施する予定の取組) 現状の取り組みを継続する		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 排出前に分別を行い、廃棄物種類ごとの保管スペースを設置している		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状の取り組みを継続する		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙-2 ご参照	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙-2 ご参照	
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙-2 ご参照	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙-2 ご参照	
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙-2 ご参照	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙-2 ご参照	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙-2 ご参照	
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙-2 ご参照	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙-2 ご参照	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙-2 ご参照	
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

(第4面)

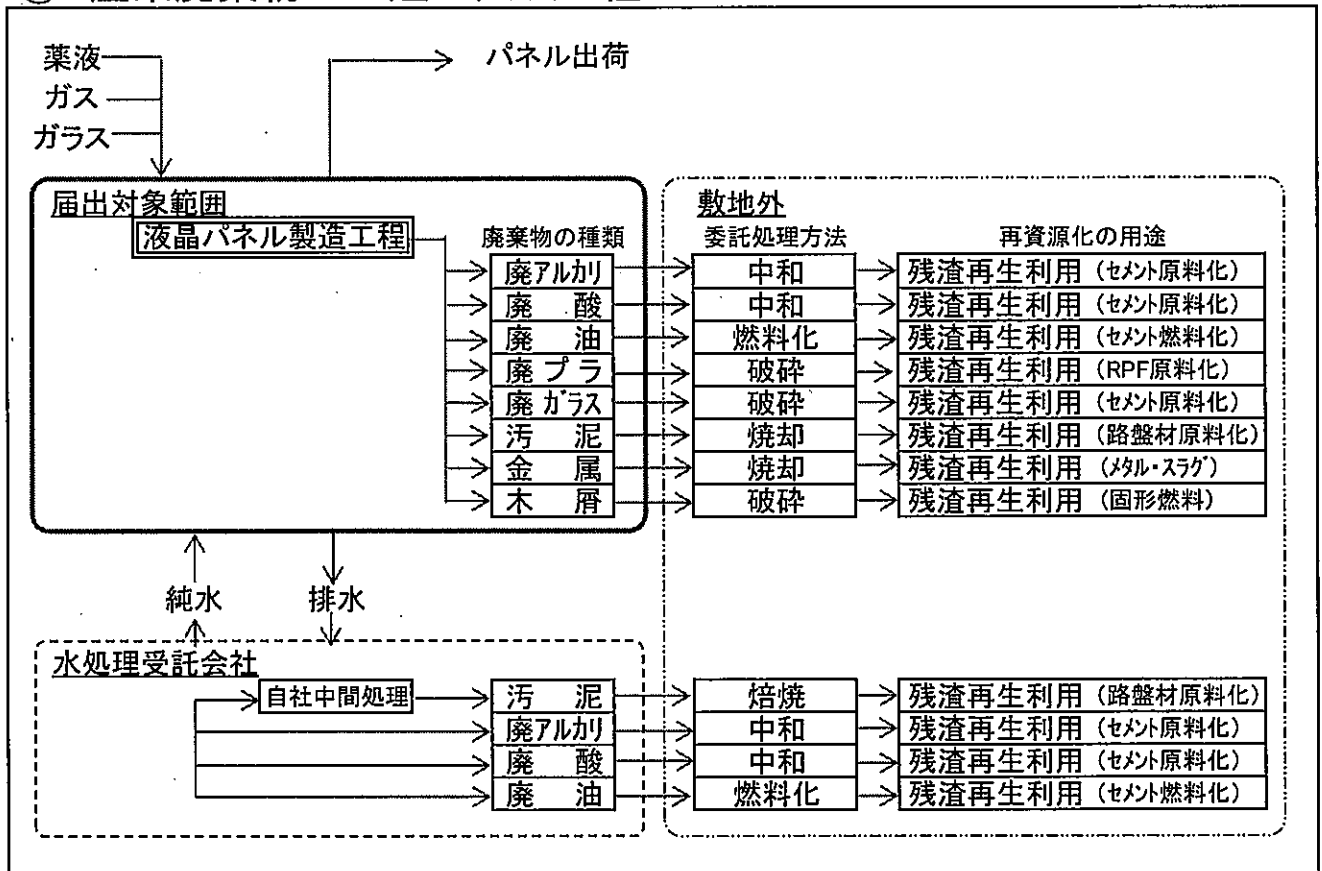
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙-2 ご参照	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙-2 ご参照	
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙-2 ご参照	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙-2 ご参照	
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙-2 ご参照	
	全処理委託量	別紙-2 ご参照	
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙-2 ご参照	
	再生利用業者への処理委託量	別紙-2 ご参照	
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙-2 ご参照	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙-2 ご参照	
	(これまでに実施した取組) 委託先である処理会社の処理場現地確認を定期的実施		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙-2 ご参照	
	全 処 理 委 託 量	別紙-2 ご参照	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙-2 ご参照	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙-2 ご参照	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	別紙-2 ご参照	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	別紙-2 ご参照	
	(今後実施する予定の取組) 現状の取り組みを継続する		
※事務処理欄			

備考

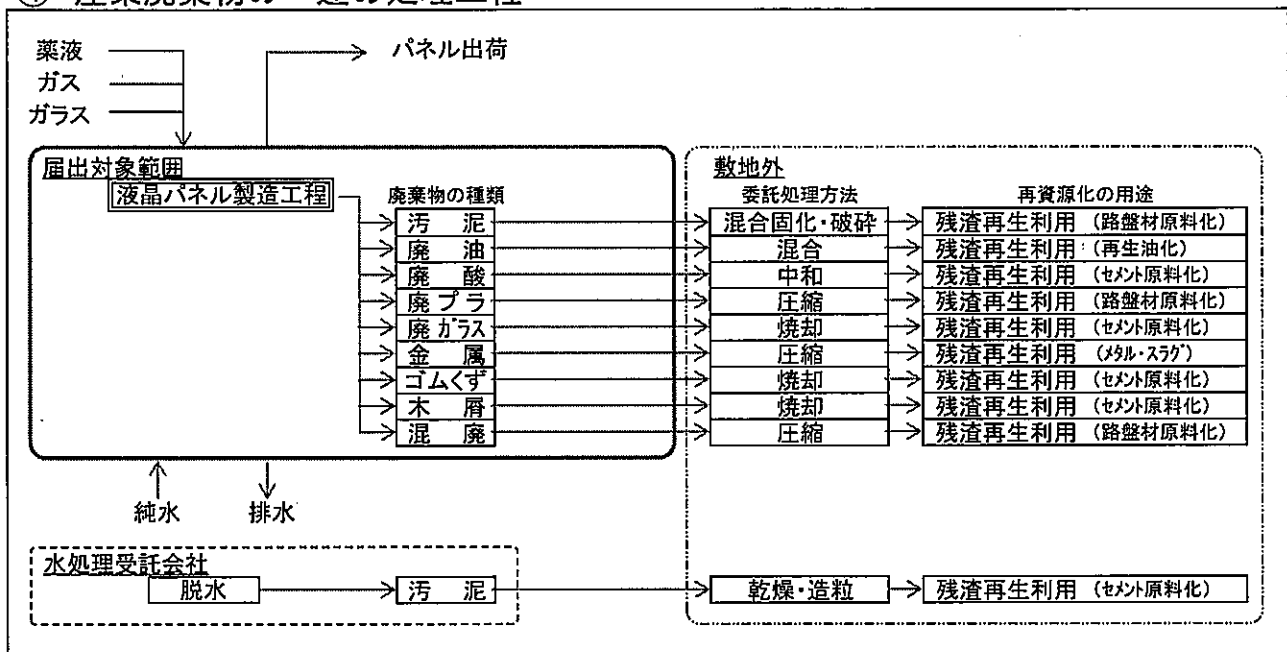
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

④ 産業廃棄物の一連の処理工程



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

④ 産業廃棄物の一連の処理工程

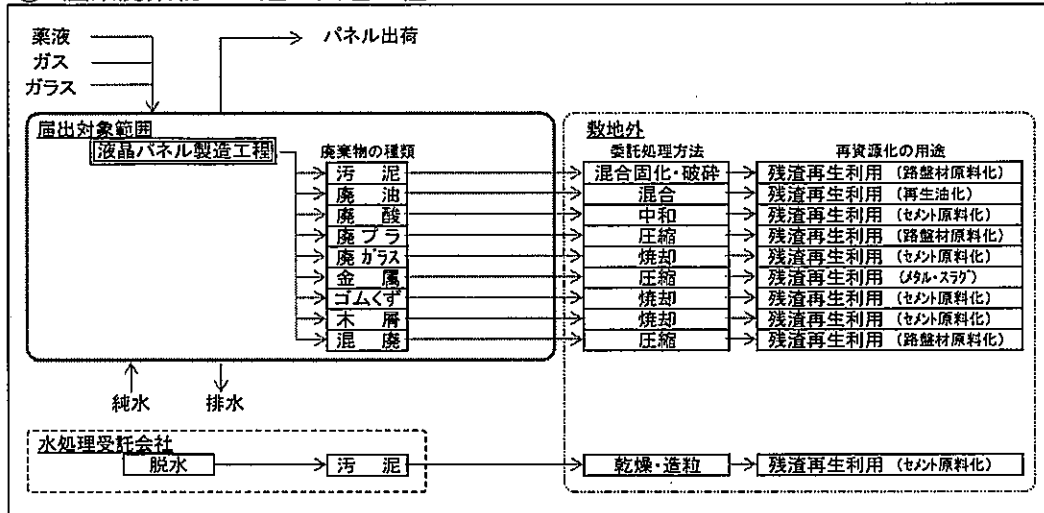


産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

別紙-1

④ 産業廃棄物の一連の処理工程



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

総括責任者	ディスプレイマニュファクチャリング株式会社 社長	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物適正管理の方針決定 ・廃棄物適正管理の総括責任 ・廃棄物適正管理の規格承認
廃棄物管理責任者	UTTサービス部 管理職	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物適正管理の方針の周知徹底 ・廃棄物適正管理の維持と改善の管理 ・廃棄物適正管理の規格及びマニュアルの管理 ・社員への環境（廃棄物適正管理）教育の企画 ・廃棄物マニュアルの承認 ・廃棄物適正管理に関する各種事項の決定と承認
管理推進者	各部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物適正管理の維持と改善の推進 ・社員への廃棄物適正管理の教育の推進
管理担当者	UTTサービス部 担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・監督官庁への報告義務（窓口） ・廃棄物適正管理に関する情報公開（窓口）

